

2 0 1 9年 1 0 月号 no.182

発行人

関西障害者定期刊行物協会 大阪市天王寺区真田山町2-

2000年12月12日第三種郵物承認

毎月(1・2・3・4・

5

発行

2

東興ビル4階

定価100円

編集人/ 社会福祉法人 花の会 広報委員会 連絡先/ 〒569-1042 高槻市南平台 3-29-9 TEL 072-692-2859 FAX 072-693-3603

★WEB http://www.hananokai.info/

★E-mail hana-net@minos.ocn.ne.jp



皆様のご来場をお待ちしています。

アでチェクという医学史学者が、

症候群の名で有名なハンス・アスペルガー

とナチスとの関係という節で、

その本の終章の冒頭、

暴かれたアスペルガー

2018年オーストリ

あのアスペル

面から取り組んで」書かれたものです。



戦争・優生思想・精神医学」(2019

一力発刊)。書名しか紹介できないが「植松

に対する批判は、

せられたか」サブテーマは「岡健氏の「いかにして抹殺の

「相模原殺傷事件と

年 4

月

ゥ

況があると思う。

少し過激な本が出ました。

〈思想〉

は引き寄

て成り立たせている今でも、

ではありません。

それ

は、終

しているからです。」「未成熟・

矛盾•

想〉に正破綻を指

て放置するのではなく、

その

〈思想〉

たレッテルを貼れば、

現在の優生思想と通底わりになるようなもの

単にナチズムとい

障害を有する子どもたちは、 犠牲になったのです。」 どもは、 アスペルガーによって教育不能と判断された子 峻別するために用いられていたというのです。 なる子どもと、治療教育が不可能な子どもとを、 治療により とナチスとの関係の詳細を発表した。その内容 ルントに移されることは、 「アスペルガーの治療教育学は、 シュピーゲルグルントという病院 最低限の労働力として役立つように 子どもにとって、 死を意味しました。 わゆる安楽死の シュピーゲル 現実的には

(やまだのかかし)

殺の〈思想〉

前回は優生思想が私たちの周りに蔓延してい

同調を迫られていることを書い

康や喫煙での通底

した事柄に判断を迫られても出生前検診だけでな

日常の

シレベル

話題を変えたいが、

障害者の差別解消を法と

やはり危うい状

日中活動支援の報告 生活介護・短期入所

新事業所につ

これまで皆さんは「(仮称)第5共働舎花の会」(以 下、第5共働舎)という事業所名を耳にしたことが あるのではないでしょうか。簡単にご説明させて頂 きます。

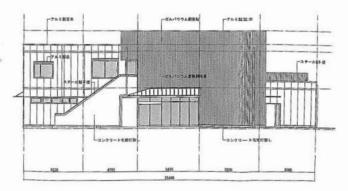
社会福祉法人花の会では、4箇所目の生活介護事 業になります。コンセプトは「地域にひらき、共に 働く」。定員は30名を予定しており、主な作業はお 菓子・パンの製造、そして配食になります。現在は 共働舎、第2共働舎で作られていますが、新しい場 所へ移転することになります。お菓子・パンについ ては小さなお店も併設予定なので、地域の方々に向 けて販売予定になっています。



現時点では土地の購入とボーリング調査が終わっ ている段階で、高槻市より建設許可がおりれば、建 設工事の着工となります。

また、名称についてもメンバー・職員で素敵な名 前になるように考えている所なので、楽しみにして いて下さい。新規メンバー募集中です!

(第2共働舎花の会 菊地 宏周)



みんなの会 メンバーの職員採用面接の取り組み

法人運営協議会での報告にもありましたが、今年 度より、職員の採用面接でのメンバー参加がスター トしました。従来通り、一次面接は理事長や管理者 による面接となりますが、二次面接の位置づけとし て、メンバーも職員採用面接をすることになってい ます。10月までに、就労部門、日中活動部門に応 募された数名の方には、メンバーによる面接を受け て頂きました。

昨年度末に面接の練習をしたとはいえ、メンバー は少し緊張気味?で面接をしています。主な面接で の内容は「今日はどうやって来ましたか?」「旅行は 好きですか?」「好きな食べ物や得意料理は何です か?」時には「メンバーにはベッタリせずに少し離 れたところから見て欲しい」「偉そうに注意をしない で欲しい」「常に笑顔でいて欲しい」など鋭い要望も ありました。

まだ始まったばかりですので、話が弾む場合とそ うでない場合、応募者から質問をしてもらうと逆に

メンバーが面接を受けて いる感じになる、不採用に した方がよいとメンバー がはっきりと意思表明で きるか?など、積み重ね や検討が必要かと思われ る場面もあります。それ でも、今まで面接を受け た応募者には好評で、新 鮮な思いを持たれる方が 多いようです。



「共に学び、共に働き、共に生きる」花の会の理 念に沿ってこれから一緒に活動するかもしれない訳 ですから、メンバーが面接することには大きな意義 があると感じますし、当然のことなのかもしれませ ん。当事者会では、より充実した内容の面接になる ように練習をして取り組みを継続していきたいと思 います。 (第4共働舎花の会 牛嶌 亮)

7 6 1

「伝わるだろう」と思い込まず、確認します。

共働舎花の会の生産活動の中で、屋上菜園を担当して 4 年。屋上のスペースにプランターをずらりと並べた、ちょっと大きめの家庭菜園というイメージでしょうか。毎日の水やり・手入れと、実った野菜の収穫、販売のための出荷準備、終わった土の再生などをメンバーと共に楽しく作業しています。毎年夏にはミニトマトをメインに育てており、今年もたくさん実らせることが出来ました。最盛期にはメンバー・ワーカー共々で午前中に収穫して袋詰めをしないと、午後からの販売に間に合いません。

ある日のこと。「さぁ、今日もたくさんとってね!」と分散してスタートさせたところ、何名かは房からではなく、落ちているトマトを懸命に拾っていました。なぜ…?と不思議に思い、自分の発した言葉を思い返すと「とって」と伝えてい

ました。"確かに…"と反省し、ハサミで切り取ることを伝え直しました。

"伝わるだろう"という思い込み。"毎日やっていることだから"という思い込み。相手の立場になってきちんと伝える。伝わったかを確認することの大切さを再認識した場面でした。

それにしても最近はミニトマトの品種が年々豊富になり、人気の「アイコ」だけでも定番の赤色に加えてイエロー・オレンジがあり、他にも紫色やピンク色の品種もあって、袋に詰めるととってもカラフルです。

来年はどんな色のミニトマトを作ろうか、今からメンバーと楽しみに、相談をしています。

(共働舎花の会 鹿子 恵美)









5 4 2

毎朝の日課『笑顔でおはよう!』。

「おはようございます。」「元気ですか?」、 相手を気遣う言葉が飛び交う毎日。素敵でしょう? すごいでしょう! 嬉しい! 地域で日中活動 している中での一コマ。

通り過ぎる人に、挨拶を交わす。「あそこの店員 さんは元気だね!」「しっかり挨拶するね!」、そ んな言葉をもらうと自分にご褒美をもらったよう で嬉しい。

"ありがとう"は魔法の言葉と聞いたことがある。色紙に書き、毎朝の合言葉にしている。

『**あ・い・う・え・お**』 尊敬する人の言葉である。

- あ) ありがとう
- え) 笑顔
- い) イライラしない
- お) 怒らない
- う) うろたえない

素敵な笑顔、ありがとう~~。

さぁー 今日は、何回言えるかな? 挑戦です! 時には、イライラ・悲しい気持ち・辛い・誰か 聞いて~といろんな表現でアタックしてくる。一人ひとりの思いに応えられているのかな?一緒に考え、悩み、寄り添い、解決できず一日が過ぎてしまうことも多々ある。朝になれば、笑顔に出会える! その繰り返し。彼、彼女たちが出来ることが増えると一緒に喜び、苦手なことは一緒に頑張る。そんな当たり前の日々、心の声に耳を傾ける力を育みたい。

今日も、素敵な出会いに目を輝かして・・・・

彼・彼女との出会いに感謝!毎日に感謝!・・・素 敵な笑顔に出会いたく て・・・・・。

(こすもす 一安 徳美)



5 4 3

近年は異常気象、異常気象と言われ続け、地震・台風・土砂 災害・河川の氾濫が起きれば気 象予報士の「今までに経験した ことのない・・・」という表現 をよく耳にします。10~15年 前はどうだったでしょうか?







レスパイトでは川遊びに出かけ、泳いだり、サワガニを捕まえたり、スイカを食べたのもいい思い出となっています。あの頃、夕立はありましたが、近年のような短時間のゲリラ豪雨で河川が氾濫することなどあまりなかったような気がします。川の危険性が高まり、すっかり川遊びを楽しめなくなりました。

高槻市では昨年、大地震と大型台風による甚大な被害がありました。そういう私も地震で家をなくした一人です。自身が被災者となり初めて分かったことが数多くありました。対応が後手に回る行政への不満、将来への不安、経済的な負担、そして何より辛かったのは、震災後3~4か月もすれば被災者がいることを世間から忘れ去られていたことです。そ

昨年の我が家の被災経験を活かし、 非常時にも対応出来る事業所に。

のような中で一番の支えになったのは、助け合った 近隣の方々や励ましの声をかけてくださった方々で した。わが家は、レスパイト職員が軍手・マスク姿 ですぐさま駆けつけてくれ、心の底から感謝しまし た。災害時には自助・共助・公助が求められますが、 公助はすぐに来れません。自助・共助の必要性を改 めて痛感しました。

さて、私どもは福祉避難所ですが、今回は市からの要請がなく受入れはありませんでしたが、要請があったとしても受入れが厳しい状態でした。マニュアルも作成し、ハザードマップも用意し、BCP計画の研修にも参加したにもかかわらず、、、地震が多いイタリアでは避難所にトイレ、キッチンカーによる食事、ベッドが72時間以内に用意出来るよう法律で明記されています。なぜ72時間なのか?遅くなれば悪い環境下でエコノミー症候群になり、震災関連死を招く恐れがあります。少しでも早く被災者の心を前向きにする必要性があります。くしくも今日は防災の日(作成日9/1)です。もう一度、昨年の経験を踏まえ、今出来ることを一つ一つ考え直す良い機会にして、非常時にも対応出来る事業所にしていきたいと思います。(レスパイト 廣橋 孝之)

レスパイト(短期入所・日中一時支援事業)

研修で受講したこと、支援に活かしていきます

レスパイトでは、毎年、LD センターが主催する 研修の中で各自が興味を持った研修に参加し、学ん できたことを発表し合い、情報を共有する内部研修 を行っています。

今回は「発達障害のある子どもの 幼児期から学童期の言語・コミュニ ケーションの課題」「作業療法の視 点から考える学校・園での環境調整 とは」について講義を受講してきま した。発達障害への理解を深めると 共に、関わり方や、職員として働く上での心構え、 具体的な支援内容を学ぶことができました。

内部研修は、改めて自分の支援を振り返り、どの

ようにすれば(環境・言葉がけ等) 改善していけるのかを話し合う、 貴重な時間になっており、支援の質 の向上に繋がるよう継続していき ます。

(レスパイト 田邉 静香)



児童支援の報告



新しい事業所を紹介します。

名 称: 『**あさがおクラブ**』

所在地: 569-1042

高槻市南平台4丁目15-22 ブードワール2F

電 話: 072-655-2103 FAX: 072-655-5746

事業: 児童発達支援、放課後等デイサービス

定 員: 10名(2事業合同)

開所日: 9月1日

郡家新町にある「あじさいクラブ」が定員15名で、いっぱいになっていました。何とか受入れを考えようと場所探しに2年。やっと場所が決まり、開所の運びとなりました。4階建ての建物の2階部分です。広さは112.48 ㎡と、ワンフロアなので広いです。窓もいっぱいで、明るすぎるぐらいです。

スタッフがなかなか見つからず、どうなることかと 心配でしたが、なんとか配置ができる体制が組めました。管理者は、中川が「あじさいクラブ」と兼務します。スタッフ(指導員)は、岩﨑、石橋、古谷、松岡、加藤です。よろしくお願いします。車両も 2 台配置し、迅速な送迎体制をめざしています。内装工事にいっぱいお金がかかりましたが、完全ではないですが、きれいになりました。備品も、最低限のものでスタートです。徐々に、揃えていきます。

クラブ」が闘所!

現状ですが、定員が 10 名なので週 5 日で単純に 50 名の受入れができるわけですが、週 2 回の方もあり、ほんと概数です。もっと利用できる日数を増やすべきですね。ボヤキはさておき、9 月末で 23 人が登録頂いています。思ったより、結構いっぱいになってしまいました。夏休み明けで、ゆっくりのスタートを期待していましたが、連日、楽しい声が部屋にこだましています。クラブの様子やご家族の声は、今後、ニュースや便りでお知らせしていきますので、ご期待ください。

さて、「あさがおクラブ」開所に伴い、定員の変更



を行っています。 「あじさいクラブ」 の定員を 15名か ら 10名にしてい ます。定数を下げ る必要はないのに と思われるかもし

れませんが、11名以上の定員の報酬額ではスタッフを維持できないのです。仕方なく10名に戻しています。今後、どのように展開していくのか、皆さんと共に考えていけたらと思います。「さくらクラブ」は、従来と今のところ、変わりません。相談支援センターあじさいも、児童の相談をめざしていましたが、場所も変わり、いろいろな相談を受けるようにしています。

悲しい報道が続いています。何とか、共に育つ社会 にしていきたいですね。 (山田 義昭)

3~5歳児の児童発達支援等の負担金無償化

10月1日より、児童発達支援、放課後等デイサービスの利用者負担が無償化されます。新たな手続きは無用とのこと、受給者証も今のまま、使えるようです。詳しくは、市のカンガルーの森までお問い合わせください。

地域生活支援の報告 グループホーム

ペがさすが、「ペがさす」と「しりうす」^

今年度4月から、府営住宅 のグループホーム「ぺがさす」 が、「ペがさす」と「しりう す」に分離する話がありまし た。8月になってようやく(?) 本格的に別々に運営するこ とになりました。

「すばる」の新築ホーム への移転が大幅に遅れたこと

や、入居者の選出が難航したことが原因でしたが、 どうにかこうにかのスタートです。しかし、「ぺが さす」のメンバーにとっては、これまで雨の日も雪 の日も公園を横切って移動していた訳で、大変な思 いだったでしょうし、何より食事と入浴・就寝が同



じ棟で行えることは、嬉しいことだと思います。多 少とはいえ、急な環境変化と新しい入居者の中で、 最初は戸惑ったこともあると思いますが、思ってい たよりもスムーズに移行できているように思います。

一方で、残された(?)「しりうす」のメンバー は、さすがに寂しそうです。新しいメンバーが合わ せて3名いますが、今はまだ体験入居の形です。ま ずはグループホームに慣れて頂いて、本格入居になっ たら雰囲気も変わっていくと思われます。また、今 後も両ホーム何らかの交流を持っていきたいと思っ ています。まだまだ、二つで一つのホームのような 「ペが・しり」の状態ですが、よろしくお願いしま す。 (フラワーホーム 大塚 修)

恒例、芝生住宅の 夏彦 つりに参加しました!

8月3日(土)に、芝生住宅の夏まつり(盆踊り大 会)が行われました。芝生住宅のグループホームで は開所以来毎年、自治会にお願いして、地域交流を 目的として「おもちゃのくじ引き」を出店していま す。ここ数年は雨にたたられて、売り上げも動員も イマイチでしたが、今年は見事な晴天!しかし、同 日に高槻まつりが駅前で開催され、それも今年はディ ズニーランドからミッキーマウスが出張してくると

か。大いに心配!でしたが、そこ は継続の力か、地域の力か、午後 7時ころから急にお客様が増え始 め、(高槻まつりからの移動?) 地域の子どもたちの笑い声で溢れ ました。例年楽しみにしている、 という方からも声をかけられ、ス タッフも嬉しくなりました。一気 に忙しくなったこともあり、

バタバタする場面もあり ましたが、時間までに完 売してしまい、少し早め の店じまいになりました。 お客様も残念そうにして いましたが、また来年! と言うと笑顔になってお られました。自治会の方



とは、準備の段階から交流し「よ ろしくね。」終了時には「よかっ たね。また来年もよろしく。」と 声をかけて頂き、いい感じで取り 組めました。来年度は更に工夫し た形で参加できたら、と思ってい ます。お疲れ様でした!

(フラワーホーム 大塚 修)



一泊旅行で、レオマワールド に行ってきました

日中支援の一泊研修旅行とほぼ同時期に友花会 も毎年、一泊旅行に出かけています。毎年「いつ もと違う環境で新しい体験を」と年明けから友花 会の運営委員を中心に友花会の定例会や総会で、 行先や日程を考えています。

今年は香川県丸亀市のレオ マの森(レオマワールド)にバス に乗って出かけてきました。貸 し切りのバスではなく新大阪発 着のシャトルバスを使っての移 動だったので、普段の活動より もかなり早い7時45分に集合 しましたが、皆さんほぼ遅れる ことなく無事にバスに乗りこむ

ことが出来ました。道中にトイレ休憩もありまし たが、予定していた時間よりも1時間程早く現地 に到着し、運転手さんにお礼を言ってホテルに チェックインしました。

夕食までの時間に周辺の散策や大きなお風呂で 入浴し、旬の食材や海産物を使った夕食をしっか りと食べ、みんなが楽しみにしていた交流会(カラ オケ)で盛り上がって、1日目を締めくくりました。

2日目の朝に友花会の運営会議を旅行の参加者 全員で行い、今後の友花会で「行きたい場所」や 「体験したいこと」、「今職場で困っていること」 等を話し合いました。今回の旅行に参加されてい

> る方々のほとんどは「同じ職 場の人が優しい」「仕事が大 変な時もあるけれど、それで もがんばっている。」とポジ ティブな意見を多く聞くこと が出来ました。運営会議のあ とは帰りのバスの時間までレ オマワールドで思ってた以上 にスピードが出たジェット コースターに驚いたり、自分

で運転するゴーカートに乗ってみたりとたっぷり 楽しみました。帰りのバスに乗り込む前に、友花 会の会長や副会長から「家に帰るまでが旅行です。 気を付けて帰りましょう!」と頼もしい挨拶も飛 び出しました。帰りのバスも予定より早く大阪に 戻って来れたこともあり、何事も無く今回の旅行 を終えることが出来ました。

(友花会 植月 安子)





こんにちは、世話人の 西井 です

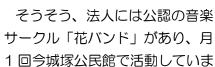
「癒し」「元気」を軸に、のんびり気の向くまま に発信していきます。生きていることを実感したい という自分発信の拙い閃きですが、宜しくお付き合 いお願いいたします(^▽^) **月**

皆さんはハンドパン、グーダドラム という楽器をご存知でしょうか?グー ダドラムはウクライナで作られている 楽器です。ハンドパンは TV を通して



認知が上がり、ご存知の方もおいでかもしれません。 どちらも金属でできた倍音楽器で、フリスビーを含 わせた様な「ドラ焼き形」をしています。海外から 渡って来たこの楽器を鳴らす時、私は自然の一部で あること、和(調和・平和)を願う気持ちになるこ とがしばしばあります。音色が美しいこともあり時 間を忘れ、仕事では発揮できない程の集中力があふ れだし、心身はとてもスッキリします。音楽はヒー

リング効果が高いものが多いです が、まさにそれです。





す。まだ部員が少なく広い音楽室の練習風景はガラ ンとしています。活動方針等もまだ手探りです。活 動依頼・要望等が有れば、担当二水谷世話人までお 問い合わせを!

和(輪)が出来る、それはごく自然な他者理解の 形なのではないでしょうか(^▽^)

(フラワーホーム 西井 嘉奈子)

今月の名言

- ■私たちは「休」ではなく「養」が必要である (M 世話人)
- ■思いは出会いによって形を成す (N世話人)

就労相談支援の報告

障がい支援区分認定調査について

2019年5月10日(金)に障がい支援区分認定 調査員研修に参加しました。研修内容は3障害に加 え難病の項目もあり、私が想定していなかった内容 が多く、自分の知識・経験不足を痛感しております。

認定調査は「一人での行動を想定する」「初めての場所で出来るか」等多角的に判断をするという、根本的な考え方を勉強することが出来ました。実際に認定調査を受ける皆さんやご家族の方も「出来る」と言ってしまいがちな所がある様子です。もちろん出来ておられるのですが、本人さんやご家族にとっては普段当たり前になっていることでも深く話を掘り下げることで、例えば「ご家族のこういう配慮」や「支援員のこういう工夫」「適切な治療、投薬を受けている」等があるから、皆さんは困らずに過ごしておられるんだということを念頭に置いて、「本

人さんやご家族が安心して生活をするためには、こういう配慮・支援が必要」という一番大切な所を、しっかりと聞き取りが出来るように頑張りたいと思います。



全盲の方や難病の方、重複障害の方への聞き取り等、私自身に足りなかった所も勉強することが出来ましたので、とても有意義な研修でした。これからも初心を忘れず学んだことを復習し経験豊富な先輩に助言を仰いで、よりスキルアップをしていきたいと考えております。

先日、調査員証が高槻市役所より届きました。訪問時には全力で頑張らせて頂きますので、皆様その際には是非よろしくお願いいたします。

(相談支援センタースキップ 杉山 勝則)

本人中心のサービス等利用計画 について

支援の最大の目的 は、「本人の自信や力 を高めていくこと」 です。

本人が「こんな暮 らしがしたい」「こん なことが出来るよう になりたい」という



夢や希望を持ち、叶えていくことが、一番の理想です。相談員は、本人が得意なことや、周りの環境でどのような強みがあるのか(たとえばバス停が家から近いので出かけやすい、等)を土台に考えていきます。

その上で、今困っていることや生活の状況、これまでの生活歴等を伺います。今困っていることがあるけれども、「ほんとはこんな風に暮らしていきたいんや」「こんなことを楽しみたいねん」という希望の整理を行います。

そして希望を実現していくための方法として、本 人と一緒にどのような支援が必要なのかを組み立て て、その希望を実現するための「小さな一歩」を決 めるところから、計画がスタートしていきます。

サービス等利用計画が、本人の希望や想いを共有 するものになり、様々な人との繋がるきっかけにな り、本人も、家族も、支援者も、そして地域のいろ んな人たちも、みんなで「一緒にやっていこか」と 感じることが増えるきっかけになれば…と思ってい ます。

今回紹介した計画作成の流れは、大阪府の相談支援専門員育成研修で学ぶ5PIC(ファイブピクチャー) という手法です。それぞれ相談員によっても、成人の方、子どもさんの場合等お話を伺っていく流れは異なりますが、大まかには上記のような流れでサービス等利用計画を作っていきます。

(相談支援センターあじさい 前川 時恵)



全国初?の **N-1 グランプリ** を開催しました

9月14日、高槻商工会議所 ホールにて第1回N-1グラン プリが開催されました。Nはネッ トワークのNであり、就労支援 ネットワークのグランプリを決

める全国大会です。主催は当センターが事務局の、

たかつき・しまもと障がい者就労 支援ネットワーク(就労ネット) で、地域の機関と協力して開催し ました。おそらく全国初の取り組 みで、参加者が集まるのか非常に 心配でしたが、北は岩手県、南は 鹿児島県からの参加、予定定員を 越える112名の参加がありまし

た。それだけ全国的に就労支援ネットワークに関心 がある証拠でした。

基調講演の後、6つのネットワークが発表し、投 票でグランプリを決めます。福島就業支援ネット ワークがグランプリとなり、来年は福島県で開催予 定です。基調講演をされた NPO 法人ハート in ハー トなんぐん市場理事の長野敏宏先生からの特別賞は、 鳴門市地域自立支援協議会就労支援部会で、その理 中は支援ネットワークなのか?支援者ネットワーク

なのか?でした。当事者が集まる取り組みに積極的 で、その評価の受賞でした。講演でも「支援者の仲 良しこよしではいけない」と話されており、忘れて はいけない大切な事柄を改めて教えて頂きました。

この全国初の取り組みは、昨年10月の就労ネッ ト会議で福島就業支援ネットワークの鈴木さんを講

> 師に招いたのがきっかけで、懇親 会でこの企画が生まれました。ち なみに福島のネットワークと就労 ネットは姉妹ネットワーク提携も させてもらっています。全国就業 支援ネットワークが共催となり、 5団体が実行委員で名古屋にて何 回か打合せがありました。私には

荷が重かったのですが、全国の素晴らしい支援者達 と新たな事柄に取り組めとても有意義でした。

「誰の為の、何の為のネットワークなのか?」、 さらには「誰の為の、何の為の仕事なのか?」を 忘れずに業務に取り組みながら、来年の福島県での N-1 グランプリを楽しみにしています。この取り 組みが引き継がれますようにー。

(高槻市障がい者就業・生活支援センター

陸野 肇)

就労支援基礎講座 を受講して

今年4月に、高槻市障がい者就業・生活支援セン ターに入職しました、ジョブコーチ兼相談員の足立 明子と申します。福祉・就労支援の初心者である私 ですが、先日受講いたしました「就労支援基礎講座」 について書かせていただきます。

就労支援基礎講座とは、「たかつき・しまもと障 がい者就労支援ネットワーク」の中のワーキングの 一つであり、就労支援の基本的な知識や、支援者と しての心構えを学ぶ連続講座です。地域の様々な機 関で企画運営や講師を担い、当センターのスタッフ もサブリーダーや講師を担っていました。さまざま な角度から就労支援全体のプロセスをもとにお話が あり、私自身がジョブコーチとして働くにあたり大

変関心を持っていた 「システマティック・ インストラクション (分りやすく教える 技術)」「会社の方に対 する環境調整」につい



ても学ぶことができました。

今回、自分の支援の土台部分を補強・修繕できた ように思います。今後もしっかりと土台を固めつつ、 経験や学びを積み上げて信頼される支援者になりた いと思っています。

(高槻市障がい者就業・生活支援センター 足立 明子)

メンバーさんと 5リズム を踊るフォルツァから

5リズムとは、カリフォルニア州にある「エサレン研究所」で、1960年代にガブリエル・ロス女史によって作られたダンス



を用いた動く瞑想とも言われるメソッドです。

5リズムとの出会いは、日本人ティーチャー 雅代・ベノアさんのクラスでした。雅代さんは、L.A. に住んでおられるので、そのクラスはスカイプ(イ ンターネットを使ったビデオ通話)で雅代さんにガ イドをしてもらいながら踊るというものでした。

ガイドの声と音楽を聞きながら5つのリズムを 踊っていく中で、深いリラックスを感じたのを覚

えています。

創始者のガブリエルは晩年「社会のために5リズムを!」と活動を始め、現在も各国のティーチャーによって障害者施設や病院、老人ホーム等で5リズムが開催されています。

ならば!と思い立ち、アメリカへ行って必要なプログラムを修了し、念願の5リズムをフォルツァでスタートさせました。毎回 L.A.の雅代さんと中継を繋いで、みんなで踊っています。

日本で福祉施設や事業所で定期的に5リズムが 開催されているのは、フォルツァだけです。踊り ながら地域やたくさんの人と繋がっていけたらい いなと思っています。

(就労支援センターフォルツァ 福島 さくら)

はたらくきっかけ就労支援セミナー を開催しました

10月5日(土)に高槻市と三島地域若者サポートステーション(以下:三島サポステ)と共催、高槻市社会福祉協議会、高槻市障がい者就業・生活支援センター(以下:就ポツ)協力のもと、『はたらくきっかけ就労支援セミナー』を行いました。第

1部では、4つの支援機関の 説明と、質疑応答形式で過去 に支援をした元利用者 4名 (三島サポステ 2名、高槻 市 2名)の方々に体験談を 話してもらいました。第2部 では、個別相談会を実施し て、現在困られているご家族・ ご本人の悩みを聞かせてもら いながら、今後の方針につい て話し合いました。



第1部の体験談では、「社会に一歩踏み出そうと思ったきっかけは?」や、「今一歩踏み出そうと思っている人に伝えたいことはありますか?」等の質問に答えてもらいました。特に印象に残っている体験談は、「最初は人と関わりたくないと思っていたが、三島サポステで支援者と話すことや、他の利用者との交流を通して、人と繋がることが楽しい気持ちになった」と聞けたことや、「働き

たくない気持ちが強かったが、職場体験等に参加 して、人から認められていくうちに自分に自信が ついて、人間らしくなっていくことを感じた」と 話してもらえたところでした。体験談を聞いて、 少しでもいいから人間関係を持ち、コミュニケー

ションを取ることが生活を豊かにするためには必要なことを教えてもらいました。そして、職場体験に協力して頂いている企業の方には、利用者の自信がつく関わり方や声かけをして頂き感謝しています。

今回の『はたらくきっかけ就 労支援セミナー』は、たくさん の方に参加頂きました。今後、 高槻市の就労支援がより発展

できるように、三島サポステでは様々な企画等を 考えていきたいと思います。セミナー終了後のア ンケートをもとに、来年度はより良い内容の『はた らくきっかけ就労支援セミナー』を企画して開催 していきたいと思います。

(三島地域若者サポートステーション

安岡 大輝)

法人の報告



第18回 花の会夏祭り 盛況でした



ご来場、ご協力、ありがとうございました

7月7日(土) 夕方4時から夜 8時で、「第18 回花の会夏祭り」 を共働舎花の会で 開催いたしました。



昨年度は、大阪北部地震や西日本豪雨のため中止になりました。今年も台風の接近などが伴い、天候が心配されましたが、雨一つ降らず丁度いい天候の中で、来場者の方たちと夏祭りを楽しめました。特に今回はビラ配り等が遅れたこと等で、情報提供が遅くなってしまいましたが、昨年度よりも多くの方が来場してくださいました!!

今回も「はにたん」が参加して子どもから大人まで「はにたん」を見て写真を撮ったりして大いに盛

り上りました。「はにたん」同様、和太鼓のグループ「和」・林バンドや家族会有志の HKU の方々も素晴らしい演奏・ダンスを披露して頂き、交遊亭楽笑さんのイベントの司会には「さすがプロ!」という進行で圧巻でした。また、花の会のお父さんの会や後援会、「ラバン エ ポンピエ」の方が BARを出店してくださり、模擬店も盛り上がりました。これらが実現したのは、地域とのつながりがあってこそ出来たことだと思います。

今回も多くの方・企業に協賛を頂きました。多く のボランティアの方にも参加して頂きました。ご協 カ頂いた方々には心よりお礼を申し上げます。

今後もいろいろな取り組む機会を設けて、地域の 方に愛される花の会にしていきたいと思います。

(共働舎花の会 渡邊 朋幸)











「Ohana食堂」(子ども食堂)

花の会版子ども食堂、その名も「Ohana 食堂」 が8月27日(火)スタートしています。場所は高 槻市栄町にある第4共働舎花の会・スイートピーの 2階になります。かねてより、地域交流の場として 子ども食堂を構想していましたが、ようやくスター トすることが出来ました。 "Ohana "の名称由来 は、ハワイ語の「オハナ」です。意味は「家族」に なりますが、血縁関係が無いものも含み、世代を超

えて永々と続くという広い概 念も含みます。花の会が子ど も食堂を始めるあたり、「子 ども、大人を区別せず、落ち 着いた交流の場を作る」こと をめざしていますので、ピッ タリの名前かなと思います。



8月27日(火)のメニューは「カレーライス」。 さて、どれだけの方が来てくれるか?雨も降って少 し不安でしたが、約10名の方が来てくれました。 これからどのような活動に しようか、皆さんでワイワイ と語り合い、まずまずのス タートになったと思います。

9月24日(火)にも開 催され、この日はスイート ピーに掲示されたポスター を見て来た地域の小学生

毎月1回開催

第4火曜日

17:00~18:30 食事 大人 100 円 子ども 10円

と一緒にみんなで「お好み焼きと焼きそば」をおい しく頂いています。まだまだ始まったばかりですが、 活動内容に関しては、食事提供(大人100円・こ ども 10円) だけに終わらず、参加された方とも相 談しながら、楽しい交流を重ねていければと思いま す。ボランティアでお手伝いを!という問い合わせ も数件頂いています。これから地域の中で、交流の 輪が広がることを期待しています。お気軽に皆さん のご参加をお待ちしています。

(第4共働舎花の会 牛嶌 亮)

人権推進·虐待防止委員会



2019年7月の虐待防止委員会では、第2共働舎 花の会の不適切支援の認定について改善計画の進捗 状況が報告されました。具体的には、外部講師を招い ての定期的な虐待防止研修の開催、支援の指針の周 知、事業所だけではなく法人全体の改善計画の作成 等の取り組みを行っていることが報告されました。

また全職員対象の虐待防止セルフチェックリスト の集計結果の報告がありました。モチベーション低

下や体調不良を感じている職員が多くいることがわ かり、業務量の確認や人員補充、職員が悩みを抱え たままにしないための方策、等の取り組みが必要で あると確認しました。

最後に、4月~6月の全事業所の事故報告、ひや りはっと報告の確認と分析を行い、再発防止につい て検討を行いました。

(虐待防止委員 成瀬 修)

「やまなみ工房」を見学して

運営協議会より

9月30日に、法人運営協議会活動の一環として、 滋賀県甲賀市にある社会福祉法人やまなみ会の「や まなみ工房」へ見学に行ってきました。一行は運営 協議会委員のうち見学を希望する者13名(所属内 訳:家族5名、メンバー4名、法人4名)です。

当該法人は33年前に3名で開設。現在86名の 利用者で多機能型施設(生活介護・就労継続支援 В 型)、6つのグループに分かれて活動されています。

活動の特色は、絵画、粘 土細工、刺しゅうなど感 性あふれる作品にあり、 真っ先に案内されたギャ ラリーに展示されていま す。開設当初は内職がお 仕事でしたが、これらの



作品は、利用者が職員(スタッフ)と共にたどり着 いた安らぎの時間、熱中するも心地よい空気の漂う 環境の証でもあるのでしょう。

一方で、法人は多岐にわたる福祉活動を展開して いますので、当工房のようにアートに集中した活動 は興味をそそられるものでした。みんなで話題にし て、今後の運営協議会活動に活かしましょう。

(運営協議会 林 正)





職員中間総括会議を開催して

職員中間総括会議が 10月 19日(土) に開催さ れました。各事業所の管理者が年度初めに立てた事 業計画について、主に事業所運営の中心となるチー

なりました。また10月から新設された福祉・介護 職員等特定処遇改善加算の説明や給与の締日支払日 の変更等の説明も行いました。 フクラスの職員が進捗上の課題をミニシンポジウム (業務執行理事 成瀬 修)

形式で行い、下半期に向け て、みんなでがんばって やっていきましょうと確認 しました。本部のある共働 舎花の会に約120名の職 員が集い、時間が足りない くらい熱気のある会議と





つながりプロジェクト企画

『職員全体研修Ⅱ』の報告

「やってよかった」、研修会が終わった時、私はそ う思いました。参加職員の多くに笑顔があったから です。

2018年4月に「職域交流会議」から、「つなが りプロジェクト」としてプロジェクトの活動に変更 し、「施設を超えてつながる」を目標に研修会開催に 向け何度も話し合いを重ねてきました。事業が違う 職員の情報共有と意思統一の難しさ、そして施設長 への報告の難しさをプロジェクト職員全員で乗り越 えました。

10月19日(土)の研修会は「施設を超えてつ ながる」のきっかけとして、フォルツァの支援につ いて説明し、メインとなるグループワークは、自己 紹介や「一人で抱え込まずステキな関わり方」を見

つけるには、というテーマで話し合って頂きました。 どのグループも、模造紙にたくさんの意見が書かれ てあり、事業を超えてつながる時間を持って頂けた と感じました。

つながりプロジェクトは続きます。花の会がワン チームになるために。

(就労支援センターフォルツァ 嶋田 陽子)





自然と触れ合おう! てんじん 出版ファーム準備中!

9月より、宗教法人上宮天満宮の代表より、障害 のある人たちの憩いの場にと、出灰(いずりは)の 一角の場所の提供を申し出頂きました。道路が不良 等でこれから準備が始まります。しばしお待ちくだ さい。 (山田 義昭)



花の会の報告

第166回 日中活動定例会の報告

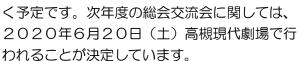
第166回定例会が9月29日(日)10:00 ~11:00 共働舎食堂ホールで開催されました。 内容の概略を以下に報告します。今回は、全体の定 例会の後、各班・店舗に分かれての分会も行われま した。全体の報告は以下の通りです。

●花の会中期計画進捗状況

前回の定例会で発表された、"花の会中期計画検討結果と今後の活動"ですが、この間は活動が殆どありませんでした。日常生活支援検討部会で検討された「花の会ノート」の記入勉強会が、次回の第167回定例会(12月15日(日))後に開催される予定です。

その他、検討結果を受けての取り組み内容に関しては、今後動きがあればニュースでも報告させて頂きます。

- ●花の会継続的な取り組み課題4チーム
- ① 集会の場所と方法検討チーム 第36回花の会総会交流会の 反省と検討課題についての報 告がありました。3階と2階を ネット中継で繋ぎましたが、画 像・音響とも状態が悪く、環境 改善に向けて継続して対策をい



- ② 生産活動への協力検討チーム 花の会自主製品の新商品に関して、次回のバザー についての改善点の提案がされました。
- ③ 次世代の参画促進検討チーム 家族会の交流会について、今年は家族会班ごと に開催する提案がありました。 今回の定例会後の家族会で班ごとに分かれて場 所や時間の検討がされました。
- ④ 花の会学習会検討チーム 前回の定例会でも提示されましたが、今年度の 学習会は、2020年1月18日(土)10: 00~12:00 高槻現代劇場 305号室 「知的障害者の高齢期支援」をテーマに開催されます。講師は武庫川女子大学教授 松端 克 文(まつのはな かつふみ)氏です。

- ●親族後見をすすめる会第14回勉強会が8月24日 (土)高槻市障がい者就業・生活支援センターで開催された報告がありました。次回は、11月16日(土)同じく高槻市障がい者就業・生活支援センターで開催されます。
- ●花の会作品展実行員会 第11回花の会作品展について、来春に開催予 定の報告がありました。次回は「メンバーの活 動発表会」も同時開催される予定です。
- ●お父さんの会 第53回花の会バザー(11月10日(日))でイ 力焼きと燻製販売をする予定。前回のバザーでは、 新たに参加して頂いたお父さんもいました。 継続 して、参加の呼びかけをしていきます。
 - ●日中活動支援事業
 - 一泊研修旅行の報告
 - 第53回花の会バザーについて
 - 「チャレンジ」(メンバーの別事 業所実習) について
 - ・【仮称】第5共働舎花の会の進捗 状況
 - ●地域生活支援事業 新規グループホーム建設に関する 候補地紹介のお願い
- ●法人より

法人運営協議会、虐待防止委員会の報告

全体の報告概要は以上になります。今回は、家族会が開催された後、各班・店舗に分かれてワーカーと家族で懇談の場を設定しました。日頃はじっくり話す機会がなかなか無いので、普段のメンバーの様子(特に一泊旅行の後でしたので、旅行の話が多かった様です)等でそれぞれに盛り上がりました。30分程でしたが、まだまだ話が尽きない!班もありました。花の会定例会への参加者も少ない、また固定化しているのが現状です。単に任意団体の活動報告に終わるのではなく、皆さんと意見交換する貴重な時間になればと思います。出来るだけ多くの皆さんのご参加をお待ちしています。

(花の会事務長 牛嶌 亮)

親族後見をすすめる会勉強会の報告

花の会で「成年後見制度」についての取り組みを 始めて約5年が経過し、その間、メンバー(利用者) と家族の高齢化により、きょうだい、親戚、社会福 祉協議会、成年後見人・・様々な形での"親以外の サポート"の方が増えました。始めの時は「まだ早 い」という方が圧倒的に多かったですが、少しずつ 「利用を考え始める」方が増えてきました。そこで、 再度「成年後見制度の目的と制度の理解」に光を当 て、何を根拠に判断すればよいのかを考えるために、 7月、8月、11月の3回に分けて、制度を基礎か ら一緒に学んでいくことにしました。

第1回目(7月20日)は主に制度の目的・趣旨 を、第2回目(8月24日)で後見人の役割を確認 しました。勉強会に何度も参加されている方、全く

初めての方・・・いずれの会も20名ほどの参加者 があり、基本的なところから一緒に考えました。

「成年後見制度はいらない」という方、本当に不要 なのでしょうか?「今すぐ始めたい」という方、本 当に今すぐ利用する必要があるのでしょうか?少し ずつ制度のことを知ること、また考えることで、家 庭ごと異なる判断基準の材料にして頂ければと思っ ています。一般の方も気軽に参加できるような機会 も作っていきます。ホームページ等で情報公開して いきますので、ご興味のある方はチェック、または お問い合わせください。

(さくらクラブ ☎072-674-6790) (事務局 平田 昌史)

第 13 回 7 月 20 日



第 14 回 8 月 24 日



花の会学習会のお知らせ 松端克文さん講演会

日 時: 2020年1月18日(土) 10:00~12:00

場所: 高槻現代劇場 305号室 テーマ: 知的障害者の高齢期支援

講 師 : 武庫川女子大学教授 松端 克文(まつのはな かつふみ)氏

参加: 無料 200 名まで

申込み: 共働舎花の会(電 話 072-692-2859)

(F A X 072-693-3603)

				活	動	報告			
			花の会			法人			日中活動
	10	土	職員親睦会	2	金	事務局会議	5	月	メンバー給料日
	24	土	第14回親族後見をすすめ	4	日	理事会	13~16	火~金	夏休み
			る会勉強会	19	月	事務調整会議	28	水	内部研修
8月	26	月	集会の場所と方法検討	21 22	水土	社労士打ち合わせ			
0 / 1			チーム (第13回)	23	木金	給食管理ソフト導入 事業所会議			
				26	月	事務職員研修			
				27	火	子ども食堂OPEN			
	2	月	次世代の参画促進チーム	1		理事会	5	木	メンバー給料日
9月		_	(第14回)	2 8	月	事務局会議 犬猫譲渡会			一泊研修旅行
	9	月	花の会役員会	9	日月	大畑譲渡芸 管理者研修			一泊研修旅行
	10	火	生産活動への協力チーム	24	火	事務調整会議			一泊研修旅行
			(第17回)	27		子ども食堂	17		内部研修
			親族後見をすすめる会	27	金	採用説明会	25	水	地域フォーラム参加
			役員会(第26回)			事業所会議			
	29	日	第166回定例会	29	日	理事会			
				30	月	やまなみ工房見学			
	21	月	次世代の参画促進チーム	4	金	事務局会議	4	金	メンバー給料日
10月	21	7	(第15回)	15	火	事務調整会議	6	日	ふれあい運動会
			(31 19년)	18	金	事業所会議	7		代休
				19	±	中間総括会議・職員	16 • 23		歯科検診
						研修	19	土	中間総括会議、職員研
				20	日	理事会	22	火	修
				22	火	子ども食堂	23	水	第3者委員巡回
									内部研修
			地域生活		ロオ	労・相談			児童支援
	4.0			_	Г			l	九重人版
	10	±	GH新人職員研修	5	月	はいびすかす会議			儿主人孩
	10 23	土金		6	月火	はいびすかす会議 運営会議			九主人顶
			GH新人職員研修	6 19	月 火 月	はいびすかす会議 運営会議 主担会議			九主人顶
8月			GH新人職員研修	6 19 22	月火月木	はいびすかす会議 運営会議 主担会議 就労ネット			九主人顶
8月			GH新人職員研修	6 19	月 火 月	はいびすかす会議 運営会議 主担会議			九主人顶
8月			GH新人職員研修	6 19 22 23	月火月木金・	はいびすかす会議 運営会議 主担会議 就労ネット 事業所会議			九主人顶
8月			GH新人職員研修	6 19 22 23 28	月火月木金水	はいびすかす会議 運営会議 主担会議 就労ネット 事業所会議 第3共働舎会議			九主人顶
8月			GH新人職員研修	6 19 22 23 28 30	月火月木金水	はいびすかす会議 運営会議 主担会議 就労ネット 事業所会議 第3共働舎会議 就ポツ連絡会初任者 研修 はいびすかす会議	1	日	あさがおクラブ開所
8月	23	金	G H 新人職員研修 内部研修	6 19 22 23 28 30	月火月木金水金 火水	はいびすかす会議 運営会議 主担会議 就労ネット 事業所会議 第3共働舎会議 就ポツ連絡会初任者 研修 はいびすかす会議 運営会議	1 3		
8月	23	水	G H 新人職員研修 内部研修 事例検討会	6 19 22 23 28 30	月火月木金水金火	はいびすかす会議 運営会議 主担会議 就労ネット 事業所会議 第3共働舎会議 就ポツ連絡会初任者 研修 はいびすかす会議 運営会議 移動支援従事者研修		B	あさがおクラブ開所 高槻市事業所連絡会児 童部会
8月	23 18 26	· 金 · 水 木	G H 新人職員研修 内部研修 事例検討会 ミニ研修	6 19 22 23 28 30 3 4 5	月火月木金水金 火水木	はいびすかす会議 運営会議 主担会議 就労ネット 事業所会議 第3共働舎会議 就ポツ連絡会初任者 研修 はいびすかす会議 運営会議 移動支援従事者研修 開講		B	あさがおクラブ開所 高槻市事業所連絡会児 童部会 内部研修
	18 26 27	金水木金	G H 新人職員研修 内部研修 事例検討会 ミニ研修 内部研修	6 19 22 23 28 30 3 4 5	月火月木金水金 火水木 火	はいびすかす会議 運営会議 主担会議 就労ネット 事業所会議 第3共働舎会議 就ポツ連絡会初任者 研修 はいびすかす会議 運営会議 移動支援従事者研修 開講 主担会議	3	日火	あさがおクラブ開所 高槻市事業所連絡会児 童部会
8月	18 26 27	金水木金	G H 新人職員研修 内部研修 事例検討会 ミニ研修 内部研修	6 19 22 23 28 30 3 4 5	月火月木金水金 火水木 火木	はいびすかす会議 運営会議 主担会議 就労ネット 事業所会議 第3共働舎会議 就ポツ連絡会初任者 研修 はいびすかす会議 運営会援後事者研修 開講 主担会議 フォルツァ会議	3 10	日火火	あさがおクラブ開所 高槻市事業所連絡会児 童部会 内部研修
	18 26 27	金水木金	G H 新人職員研修 内部研修 事例検討会 ミニ研修 内部研修	6 19 22 23 28 30 3 4 5	月火月木金水金 火水木 火木土	はいびすかす会議 運営会議 主担会議 就労・ト事業所働舎会議 第3共働舎会議 第3共働舎会会初任者 研修 はいび会議 運営支援 移動すな議 移動支援後事者研修 開講 主担会議 フォルツンプ	3 10	日火火	あさがおクラブ開所 高槻市事業所連絡会児 童部会 内部研修
	18 26 27	金水木金	G H 新人職員研修 内部研修 事例検討会 ミニ研修 内部研修	6 19 22 23 28 30 3 4 5	月火月木金水金 火水木 火木	はいびすかす会議 運営会議 主担会議 就労・ト事業の会議 第3共働連舎会議 ができる会初任者 ですが、 はいび会議 を動支援後事者研修 はいば会議 を動支援後事者研修 関連 はいが会議 でする。 はいが会議 でする。 はいがのでは、 はいがのできる。 はいがのでは、 はいがのでは、 はいがのでは、 はいがのでは、 はいがのでは、 はいがのでは、 はいがのでは、 はいがのでは、 はいがのできる。 はいがのでも。 はいがのでも。 はいがのでも。 はいがのでも。 はいがのでも。 はいがのでも。 はいがのでも。 はいがのでも。 とっと。 はいがのでも。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と	3 10	日火火	あさがおクラブ開所 高槻市事業所連絡会児 童部会 内部研修
	18 26 27	金水木金	G H 新人職員研修 内部研修 事例検討会 ミニ研修 内部研修	6 19 22 23 28 30 3 4 5	月火月木金水金 火水木 火木土木	はいびすかす会議 運営会議 主担会議 就労・ト事業所働舎会議 第3共働舎会議 第3共働舎会会初任者 研修 はいび会議 運営支援 移動すな議 移動支援後事者研修 開講 主担会議 フォルツンプ	3 10	日火火	あさがおクラブ開所 高槻市事業所連絡会児 童部会 内部研修
	18 26 27 28	金水木金土	G H 新人職員研修 内部研修 事例検討会 ミニ研修 内部研修 G H 世話人親睦会	6 19 22 23 28 30 3 4 5 10 12 14 19 20 25	月火月木金水金 火水木 火木土木金水	は 運生担 が はいび会議 まがま 第3共 が修 は関生 が多 素の 素の 素の 素の 素の まの まの まの まの まの まの まの まの まの ま	3 10 12	日火 火木	あさがおクラブ開所 高槻市事業所連絡会児 童部会 内部研修 事業所連絡会
	18 26 27 28	金水木金土	G H 新人職員研修 内部研修 事例検討会 ミニ研修 内部研修 G H 世話人親睦会	6 19 22 23 28 30 3 4 5 10 12 14 19 20 25	月火月木金水金 火水木 火木土木金水 水	はいび会議 連担が表議 記労会議 記労会会会 第3共所働連 が修 はごの会会会会 がのでは でで、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	3 10 12	日火 火木 火	あさがおクラブ開所 高槻市事業所連絡会児 童部会 内部研修 事業所連絡会
	18 26 27 28	金水木金土火土	G H 新人職員研修 内部研修 事例検討会 ミニ研修 内部研修 G H 世話人親睦会 事例検討会 中間総括会議・全職員研修	6 19 22 23 28 30 3 4 5 10 12 14 19 20 25	月火月木金水金 火水木 火木土木金水 水木	は運主就業第就が がす議議 を受ける。 では選生のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	3 10 12 8 19	日火 火木 火	あさがおクラブ開所 高槻市事業所連絡会児 童部会 内部研修 事業所連絡会
	18 26 27 28 15 19 22	金水木金土 火土火	G H 新人職員研修 内部研修 事例検討会 ミニ研修 G H 世話人親睦会 事例検括会議・全職員研修 第三者委員事業所巡回	6 19 22 23 28 30 3 4 5 10 12 14 19 20 25	月火月木金水金 火水木 火木土木金水 水	は運主就事第就所 いび会会 議 ・ は関連 ・ が ・ は関連 ・ は関連 ・ は関連 ・ は関連 ・ は関連 ・ は関連 ・ は関連 ・ は関連 ・ は関連 ・ は関連 ・ は関連 ・ は関連 ・ は関連 ・ は関連 ・ は関連 ・ は関連 ・ は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	3 10 12 8 19	日火 火木 火土	あさがおクラブ開所 高槻市事業所連絡会児 童部会 内部が修 事業所連絡会 内部修 中間総括会議・職員研 修
9月	18 26 27 28 15 19 22 25	金水木金土火土火金	G H 新人職員研修 内部研修 事例検討会 ミニ研修 内部世話人親睦会 事例検討会 中間総括会議・全職員研修 第三番の 内部修	6 19 22 23 28 30 3 4 5 10 12 14 19 20 25	月火月木金水金 火水木 火木土木金水 水木	は運主就業第就が がす議議 を受ける。 では選生のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	3 10 12 8 19	日火 火木 火土	あさがおクラブ開所 高槻市事業所連絡会児 童部会 内部研修 事業所連絡会
	18 26 27 28 15 19 22	金水木金土 火土火	G H 新人職員研修 内部研修 事例検討所修 会 三の部世話人親睦会 事例検括会議・全職員回 内部ののでは、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対して	6 19 22 23 28 30 3 4 5 10 12 14 19 20 25	月火月木金水金 火水木 火木土木金水 水木土	は運主就事第就所とび会議を開生がいる会議を表示のでは、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個	3 10 12 8 19	日火 火木 火土	あさがおクラブ開所 高槻市事業所連絡会児 童部会 内部が修 事業所連絡会 内部修 中間総括会議・職員研 修
9月	18 26 27 28 15 19 22 25	金水木金土火土火金	G H 新人職員研修 内部研修 事例検討会 ミニ研修 内部世話人親睦会 事例検討会 中間総括会議・全職員研修 第三番の 内部修	6 19 22 23 28 30 3 4 5 10 12 14 19 20 25 2 3 5	月火月木金水金 火水木 火木土木金水 水木土 火	は運主就事第就の では選生が では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	3 10 12 8 19	日火 火木 火土	あさがおクラブ開所 高槻市事業所連絡会児 童部会 内部が修 事業所連絡会 内部修 中間総括会議・職員研 修
9月	18 26 27 28 15 19 22 25	金水木金土火土火金	G H 新人職員研修 内部研修 事例検討所修 会 三の部世話人親睦会 事例検括会議・全職員回 内部ののでは、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対して	6 19 22 23 28 30 3 4 5 10 12 14 19 20 25 2 3 5 8 10	月火月木金水金 火水木 火木土木金水 水木土 火木 木	は運主就事第就研は運移開主フガが業業等就研して運動講担オグラネ所側連が議議・議会会会が「大学・では、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	3 10 12 8 19	日火 火木 火土	あさがおクラブ開所 高槻市事業所連絡会児 童部会 内部が修 事業所連絡会 内部修 中間総括会議・職員研 修
9月	18 26 27 28 15 19 22 25	金水木金土火土火金	G H 新人職員研修 内部研修 事例検討所修 会 三の部世話人親睦会 事例検括会議・全職員回 内部ののでは、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対して	6 19 22 23 28 30 3 4 5 10 12 14 19 20 25 2 3 5	月火月木金水金 火水木 火木土木金水 水木土 火木	は運主就事第就では運移開主力が議議・議会会会会を表示の場連を表示の場連を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を	3 10 12 8 19	日火 火木 火土	あさがおクラブ開所 高槻市事業所連絡会児 童部会 内部が修 事業所連絡会 内部修 中間総括会議・職員研 修

発行人 2000年12月12日第三種郵便物承認 関西障害者定期刊行物協会(大阪市天王寺区真田山町2・2)東興ビル4階 毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日)発行 定価100円